



認定看護師CN NEWS VOL.9



認定看護師の活動や情報を紹介します

2016年4月 第9号

平成28年度認定看護師所属一覧 (配置換えがありました)

皮膚・排泄ケア認定看護師	日野岡蘭子	看護部
	上野直美	看護部
	本間美穂	6階東NS
がん化学療法看護認定看護師	黒崎明子	看護部
	岩崎真実	点滴センター
新生児集中ケア認定看護師	本村勅子	NICU NS
	大淵友紀	NICU NS
	栗原かおる	NICU NS
糖尿病看護認定看護師	法月章子	自己啓発休業
	古澤亜矢子	10階東NS
	平間幸子	7階東NS
感染管理認定看護師	石上香	感染制御部
	渡邊和恵	9階東NS
集中ケア認定看護師	上北真理	9階東NS
	村上閑香	ICU NS
緩和ケア認定看護師	笹田豊枝	緩和ケア診療部
	杉山久美	6階西NS
乳がん看護認定看護師	吉田美幸	5階東NS
手術看護認定看護師	山近真実	手術部NS
がん放射線療法看護認定看護師	野中雅人	5階西NS
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	大宮剛	7階東NS
摂食・嚥下障害看護認定看護師	工藤紘子	5階東NS
救急看護認定看護師	伊藤尋美	救命救急NS
認知症看護認定看護師	内山寛美	7階東NS

今年度の認定看護師委員会委員長は、
感染管理認定看護師 石上香が務めます。
今年度も認定看護師をぜひご活用下さい！

看護フェア「看護体験と看護相談」を開催して

緩和ケア認定看護師 6階西NS 杉山久美

平成27年11月6日(金)、7日(土)に認定看護師委員会主催で、看護フェア「看護体験と看護相談」を開催しました。内容は、『認知症の特性を踏まえた療養環境作り』、『足をもっと知ろう！～予防的フットケアとは？～』など各分野の認定看護師が看護ケアと一緒に体験できるよう趣向を凝らしました。今年は141人の参加があり、その内18人が院外からの参加でした。参加者はレクチャーを聞きながら、その場で気になることが質問でき、お互いが身近に感じられるような研修となりました。多数ご参加頂きありがとうございました。



病棟カンファレンスに参加して

集中ケア認定看護師 ICUNS 村上閑香

7階西病棟において、ドレーン自己抜去予防についてのカンファレンスに参加させていただきました。患者さんの体動の原因や、ADL、認知力など、患者さんの状態と問題の原因について病棟のスタッフと情報共有し、体動の支障とならずにドレナージでき、自己抜去に至らない固定位置や方法について検討することができました。今後も、集中ケア領域における看護ケア方法や具体的な実践に結びつけられるように、皆さんと一緒に検討していきたいと思っております。お困りのことがありましたらご連絡をお願いします。



国民保護共同実働訓練への参加について

救急看護認定看護師 救命救急NS 伊藤尋美

平成27年11月19日に政府が主催する国民保護法に関する実働訓練が旭川市でテロが発生したことを想定し開催されました。当院は、受け入れ病院として各部署から多くの医師・看護師等コメディカルスタッフや事務職員などが訓練に参加しました。大規模な災害訓練は当院初の試みでしたが、外部評価委員から高い評価を得ることができました。旭川が被災地というのは想定しにくいと思いますが、災害拠点病院で働く職員は、空港災害やバス事故等は他人事ではなく、緊急時に負傷者を救助し、かつ、入院中の患者を守ることが求められます。今後も様々な状況を想定した訓練の開催を予定しており、救急看護認定看護師として、『災害時における急性期の医療ニーズに対するケア』の役割を果たしていきたいと思っております。



糖尿病専門分野における質の高い

看護師育成研修を終えて

糖尿病看護認定看護師 10階東NS 古澤亜矢子

7階東NS 平間幸子

2015年12月7日～25日まで、糖尿病専門分野における質の高い看護師育成研修を実施しました。旭川市内外から3名の研修生を迎え、研修内容は「専門分野の講義」「病棟実習」「ケースレポート発表」でした。研修生からは「知識を深め、アセスメント能力を高めることができた」「貴重な講義を聞き、実践に活かすことができた」など貴重な意見を得ることができ、次年度の院内外の研修に活かしていきたいと思っております。どの病棟にも糖尿病の患者さんがいます。ケアについて困っていることあれば、いつでもご連絡下さい。





すぐに活かせるベッドサイドケア！！



新生児の痛みケア

NICU NS 新生児集中ケア認定看護師 栗原かおる

採血などの痛みを伴う処置で新生児が泣くのは当たり前と
いたり、暴れないように押さえつけるような介助をしていない
でしょうか。新生児は、胎内にいた時のような丸まった姿勢をと
ることや、新生児の手や母乳のついた綿棒、おしゃぶりなどを吸
嚙させてあげると、泣かずに落ちつくことができます。

泣かなくても、顔をしかめたり心拍数を変化させて痛みを訴
えていることがあります。介助の時は、医師の手元だけではなく、
新生児の顔を観察して痛みの程度をアセスメントしましょう。



Q&Aコーナー

～認定看護師がお答えします！～



インフルエンザ対策について

9階東NS 感染管理認定看護師 渡邊和恵



【Q1】
マスク2枚重ねは効果的？

*4月6日、インフルエンザ感染予防重点対策が解除になりました。

【A1】
マスクは枚数ではなく、
もれ率で効果が変わります。



表裏を間違えなければマスクは1枚で十分です。
マスクの効果は辺縁の「もれ率」で決まります。
是非、正しい装着を！



【Q2】
誰も症状がない時は、
ステーションでマスクを外し
ていいの？

【A2】
流行期はつけて下さい。
マスクをずらして喋るこ
とはやめましょう。



ワクチンを接種すると、インフルエンザ症状が
軽くなる点や、潜伏期間から、症状の自覚がな
いまま水平伝播する可能性があります。
飛沫だけでなく、接触でも感染する可能性があ
るので注意が必要です。

認定看護師委員会より

昨年度は、認定看護師をご活用いただきありがとうございました。今年度も様々な分野の専門性を活かし、みなさんと一緒にベッドサイドケアの向上に努めていきたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。